



CRAFTNICS

Craftsmanship & Mechatronics

会社案内

MARUNAKA TEKKOSHO INC.

1934

10th

20th

30th

40th

50th

60th



クラフトニクス®

という考え。

メカトロニクス クラフトマンシップ 先端技術と伝統的職人技の融合

当社は表面の最終仕上げ技術にこだわりを持って技術開発をすすめています。そのこだわりを「クラフトニクス」(登録商標)という言葉に込め、当社製品の開発理念として位置付けています。

すなわち、「クラフトニクス」とは、日本人の持つ伝統的な職人技=クラフトマンシップと、最先端の「メカトロニクス」技術とを融合、結晶させ、高付加価値でありながらこだわりのある職人の技が感じられるテクノロジーを意味しています。

当社は昭和9年の創業より75年以上に渡り、「木」という、人に安らぎや温かさを与える素材で、しかも再生可能な、地球に優しい資源を対象に、「クラフトニクス」の精神でオリジナル製品を開発し、木の香漂う豊かな暮らしに貢献したいと願っている機械メーカーです。



1957年(昭和32年)1月





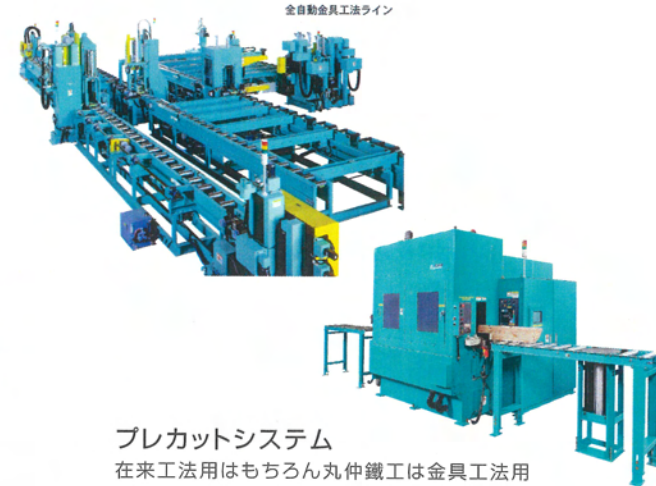
汎用機

超仕上げかんな盤の歴史は丸仲鐵工の歴史でもあります。日本人が愛してやまない美しい木肌、そして心から寛げる日本の住まいづくりに欠かせないマシンである超仕上げかんな盤は、累計出荷台数5万台以上(刃物研削盤は2万台以上)を誇る、まさに永遠のベストセラーです。



塗装・乾燥システム

住宅用建材や家具部材の各種表面塗装を行うシステムです。UV塗料で真空塗装を行う「バキュームコート」や環境に優しい植物由来の天然塗料を専用に塗布する自動塗装機「エコマシン」、さらに自動車内装部材の塗装ラインなど、ユニークで効率の良い塗装・乾燥システムを数多く提供しています。



プレカットシステム

在来工法用はもちろん丸仲鐵工は金具工法用プレカットマシンの開発も早くから手掛け、ミニラインから全自動CAD/CAMラインまで多くのマシンが活躍しています。また短尺材専用機、全自動ドリフトピン打込機や金具専用全自動登り梁加工機、パネル加工機など様々なプレカットマシンをラインナップ。



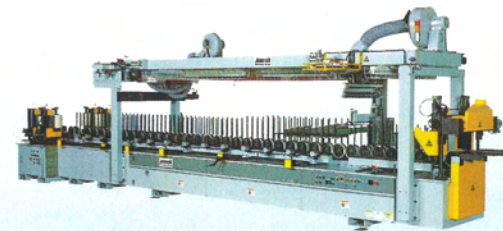
縦突きスライサー

突き板により無垢材と同じテイストをつくりだすスライサーは、森林資源の有効利用に大いに貢献しています。特にフロア材のトップレイヤー用などの厚物をスライスできるMARUNAKAの厚突きスライサーは日本のみならず世界中で特許を取得しており、世界数十カ国に出荷されるグローバルブランドです。



NCマシン

テーブル、ドア等の木工加工用はもちろん、樹脂やアルミなど金属加工用に至るまで、各種NCルータ&NCボーリングマシンを幅広く手掛けています。剛性、操作性、コストパフォーマンスに優れたNCマシンを、お客様のご要望に合わせて様々にカスタムメイドいたします。



ラッピング(プロフィールラミネータ)マシン

いろいろな形状の基材に鏡面シート、天然突き板、紙などを包み込むように貼り付けてゆくラッピングマシンは、その用途や部材により、数多くの機種を開発・製造し建材メーカー様を中心に圧倒的な納入実績を誇ります。

(※ラッピングマシンの販売元は丸仲商事(株)です)

Company Profile 会社概要

社名	株式会社丸仲鐵工所
本社所在地	〒421-0111 静岡県駿河区丸子新田175番地の1 TEL.054-259-8111 FAX 054-257-0498
創業	昭和9年
設立	昭和23年5月
資本金	8,000万円
代表者	望月清史
従業員	40名
事業内容	建築、建材用各種木工機械、塗装乾燥システムの製造販売、不動産賃貸。
主な製造機種	在来木造住宅構造材プレカットマシン（特に金具接合用プレカットシステム）、建材用プロフィールラミネーター（ラッピングマシン）、家具・造作材・内外装建材用塗装乾燥システム、超仕上げかな盤、刃物研削盤、縦突きベニアスライサープラント、樹脂・アルミ用CNCルータ・CNCボーリングマシン



Company History 会社沿革

昭和9年・望月仲太郎により丸仲鐵工所創立。下駄製造機械の生産を開始する。

昭和17年・海軍省の管轄下に置かれ、航空機部品を製造。

昭和20年・戦災にて工場焼失。

昭和21年・工場再建、精密木工機械の生産開始。

昭和23年・株式会社丸仲鐵工所法人設立。

昭和38年・資本金1,000万円に増資。

昭和44年・資本金2,000万円に増資。

昭和45年・静岡市北丸子に本社屋・工場が完成。
・超仕上げかな盤の開発に対し、関東地方発明表彰に於いて特賞。

昭和46年・資本金3,000万円に増資。
・望月仲太郎、一般木工機械と超仕上げかな盤の発明、開発に対し、国家に貢献の業績が認められ、科学技術庁より黄綬褒章を受く。
・技術部門充実のため研究工場建設。
・突板製造プラント・シングルスライサーを開発。
・名古屋国税局より優良申告法人の指定を受く。

昭和48年・超仕上げかな盤のノウハウをルーマニアに輸出、現地生産に入る。

昭和49年・刃物研削盤の開発に対し、関東地方発明表彰に於いて特賞。

昭和51年・超仕上げかな盤、ロイヤルFX発売以来10,000台を突破、業界初の量産記録を達成。
・名古屋国税局より優良申告法人の継続指定を受く。

昭和53年・刃物研削盤、マイクロラッパー発売以来10,000台の販売記録達成。

昭和54年・望月仲太郎、長年にわたる産業界への貢献に対し勲五等双光旭日章を受く。
・取締役会長に望月仲太郎、代表取締役に望月敏平が就任。

昭和56年・ワイドベルトサンダーの製造を開始。
・名古屋国税局より優良申告法人の継続指定を受く。

昭和58年・資本金5,800万円に増資。
・自動塗装機、プロフィールラミネータの製造を開始。
・中国市場に本格的参入。突板製造プラントのシェア拡大。

昭和61年・マイクロ波加熱による曲げ木加工機を静岡県工業技術センターと共同開発。
・単板接着機の開発を全国木工機械工業会の委託事業として実施。

昭和62年・名古屋国税局より優良申告法人の継続指定を受く。
・デュエットセールを実施。超仕上げかな盤Xシリーズを開発。

昭和63年・資本金8,000万円に増資。

平成5年・創業者望月仲太郎逝去。内閣総理大臣 細川護熙により従六位に叙される。
・名古屋国税局より優良申告法人の継続指定を受く。

平成6年・中華人民共和国にて厚突きスライサーの特許確立。

平成7年・欧州 (EUROPEAN PATENT OFFICE = GERMANY, FRANCE, ITALY, SPAIN, ENGLAND) にて厚突きスライサーの特許確立。
・名古屋国際木工機械展 (MOKKITEN NAGOYA) にて全自動プレカットシステム"ALIOS"が技術優秀賞を受賞。

平成8年・カナダにて厚突きスライサーの特許確立。

平成10年・第17回大阪木工機械展にて金具工法用登り梁加工機"NBC-085A"が優秀賞を受賞。
・望月敏平 代表取締役会長就任。同時に望月清史 代表取締役社長就任。

平成11年・国際品質マネジメントシステムISO9001 認証登録。登録証番号 JQA-QM3745。

平成12年・代表取締役会長 望月敏平に秋の褒章で藍綬褒章が授与される。

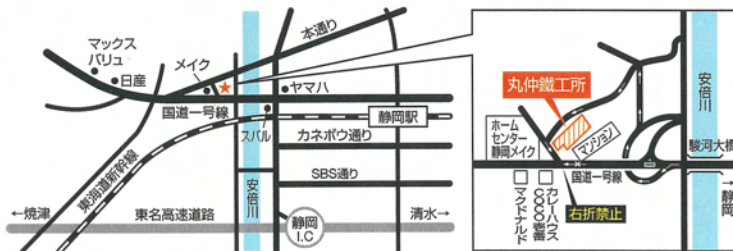
平成14年・テクニカルセンターに於いて「クラフトニクスフェア」開催。

平成15年・本社および工場を静岡市駿河区丸子新田175-1に移転。

平成16年・第20回大阪木工機械展にて「サイド バキュームコーター」が優秀製品賞を受賞。

平成17年・カナダ・ケベック州ラバル大学、森林サイエンス学部のラボが超仕上げかな盤および縦突きスライサーを採用。

平成19年・本社工場を拡張整備。工場面積が今までの2倍以上に広がる。



〒421-0111 静岡県駿河区丸子新田175番地の1
TEL:054-259-8111(代) FAX:054-257-0498
www.marunaka-jp.com